

アンケート結果について

平成 27 年 3 月 17 日 (火)

(1) 回答者属性について

①事業者区分

今回得られた総サンプル数は、222 サンプルである。その内、ガソリンスタンド従事者から得られたサンプル数は 105 サンプル、整備工場従事者から得られたサンプル数は 117 サンプルである。ガソリンスタンド従事者から得られたサンプル数の 105 サンプルの内、フルサービス方式のガソリンスタンド従事者が 67 サンプル、セルフサービス方式のガソリンスタンド従事者が 30 サンプルとなっている（空白回答は 8 サンプル）。

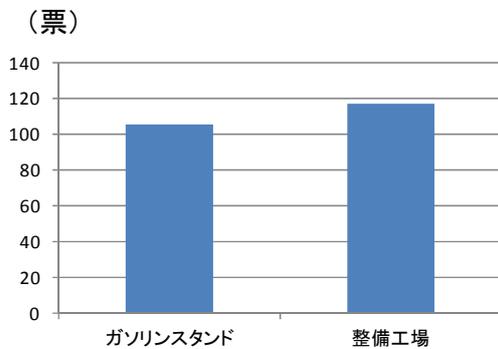


図 サンプル数内訳

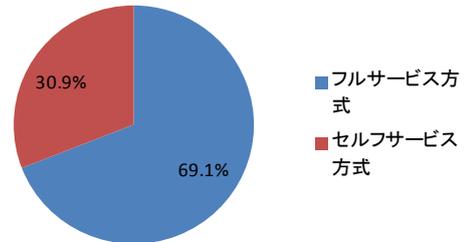


図 ガソリンスタンドの方式の内訳

②性別

性別の内訳は、男性が 213 サンプル、女性が 4 サンプル（空白回答が 5 サンプル）と男性に偏った結果である。

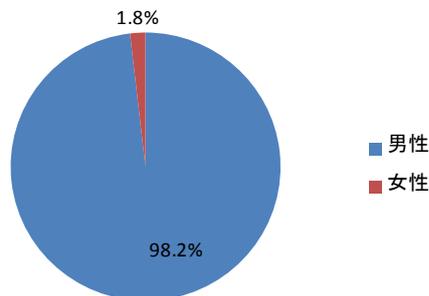


図 性別 内訳

③年齢

年齢別内訳のグラフを下記に示す。目の衰えが懸念される50代以上の方が49.8%と約半数を占めることから、年齢別の集計を問4で行う必要があると考えられる。

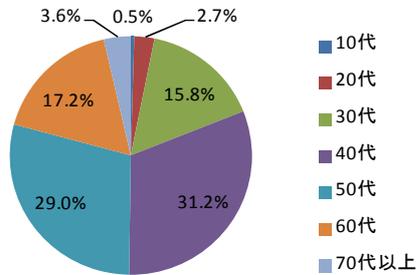


図 回答者の年齢別内訳【有効回答数：221 サンプル】

④整備士資格の有無

整備士資格の有無について、全体での内訳、ガソリンスタンド従事者での内訳、整備工場従事者での内訳について示す。

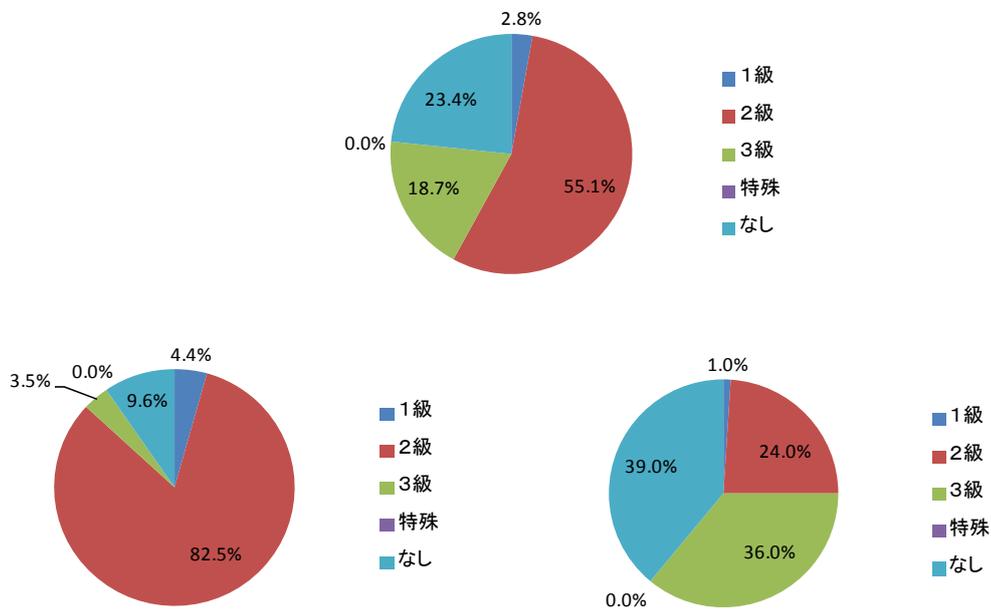


図 整備資格の有無（上段：全体、下段左側：整備工場、下段右側：ガソリンスタンド）

【有効回答数：全体（214 サンプル）、整備工場（114 サンプル）、ガソリンスタンド（100 サンプル）】

(2) 検査標章を確認するタイミングについて（ガソリンスタンド従事者）

検査標章を確認するタイミングは、a. 入庫時という意見は少数であり、b. 窓拭き中、c. 点検等のサービス中という意見が多い。また、その他の状況を挙げて頂いた意見の内訳として、複数回答があった事項を下記に整理する。下記より、整備時、接客時、給油時等の車の直近で検査標章を見るタイミングが多いことが分かる。

その他の意見

- ①オイルやタイヤなどの部品やパーツ等の交換時・・・5件
- ②接客時・・・3件
- ③車検の勧誘時・・・3件
- ④洗車時・・・2件
- ⑤給油時・・・2件
- ⑥ナンバー認証機能カメラでの読み取り時・・・2件

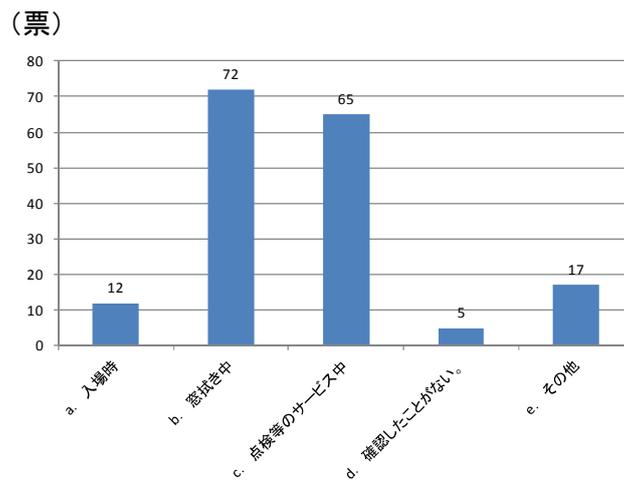


図 有効期間を確認するタイミング

(3) 検査標章を確認するタイミングについて（整備工場従事者）

整備工場従事者の検査標章を確認するタイミングについては、140件の意見があった。その内訳として、複数回答があった事項を下記に整理する。整備工場従事者は、ガソリンスタンド従事者とは傾向が異なり、点検、整備等の作業中よりも入庫してきたタイミングという比較的距離のある位置から確認するという意見が多い。

検査標章を確認するタイミング（整備工場従事者）

- ①車検や定期点検の際に工場に車が入庫してきた時・・・72件
- ②定期点検や車検などの点検時、整備や修理時など作業中・・・25件
- ③次回車検入庫促進のため等の車検の勧誘・セールス時・・・15件
- ④車検証と一致しているかの確認時・・・7件
- ⑤フロント業務で車検等の受入時・・・6件
- ⑥車を移動させる時・・・5件
- ⑦車検の見積り時・・・2件

(4) 検査標章が入庫、入店時に見えるかどうかについて

1) 集計結果

検査標章が入庫、入店時に見えるかどうかについて、その内訳を下記に示す。整備工場従事者とガソリンスタンド従事者では、傾向が異なっている。状況によって見えることもあると回答した人の割合は同程度であるものの、整備工場従事者は、見えると答えた人が多く、ガソリンスタンド従事者は見えないと答えた意見が多い。一概には言えないが、従事者と入庫、入店車の距離、日光の反射等の条件の違いが考えられるため、問4については事業者別に年齢別の集計を行う。

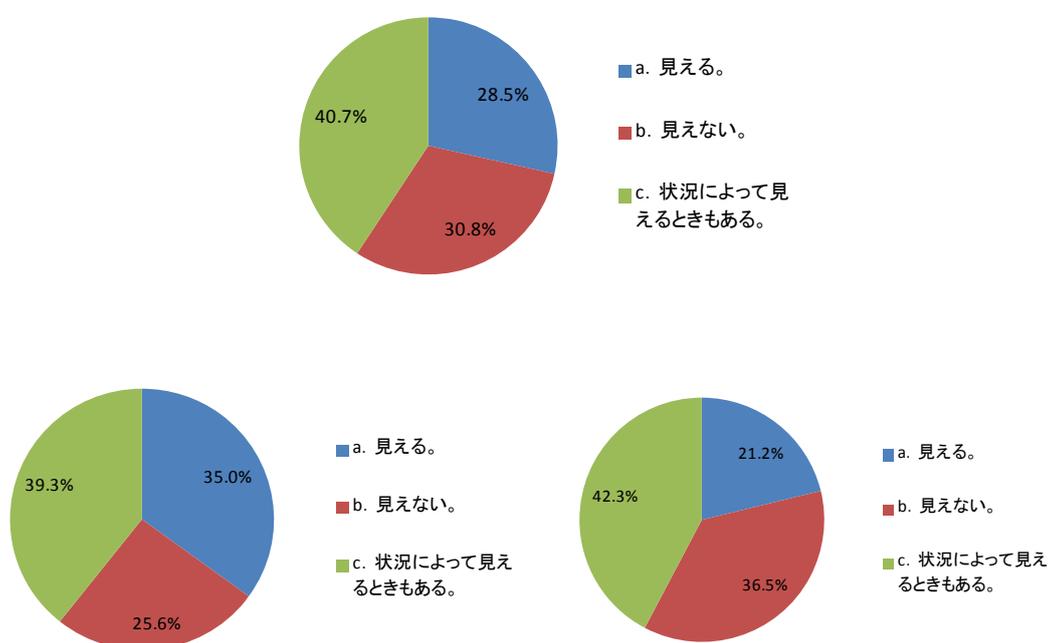


図 検査標章が入庫、入店時に見えるかどうかについて

(上段：合計値、下段左側：整備工場、下段右側：ガソリンスタンド)

【有効回答数：合計値 (221 サンプル)、整備工場 (117 サンプル)、ガソリンスタンド (104 サンプル)】

2) 年齢(2区分)別に見た場合

サンプル数がそれほど多くないため、40歳代以下と50歳代以上の2区分において集計する。

整備工場、ガソリンスタンド従事者とも a. 見える、と答えた人の割合が50歳代以上の人の方が高いため、目の衰えに関しては議論は必要ないと考えられる。

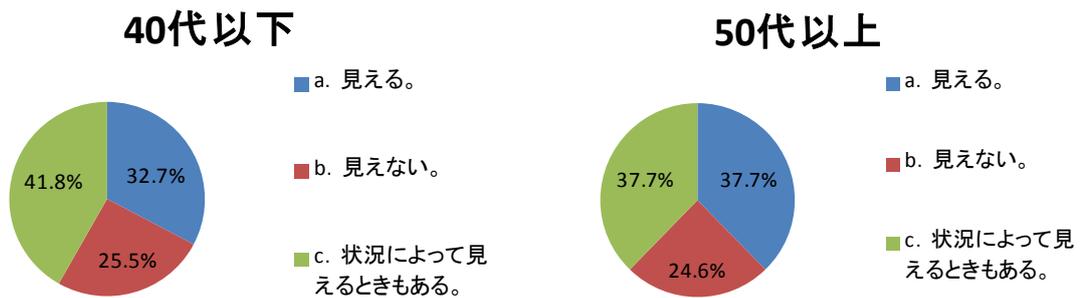


図 年齢(2区分)毎の回答結果内訳【整備工場】(有効回答数:116サンプル)

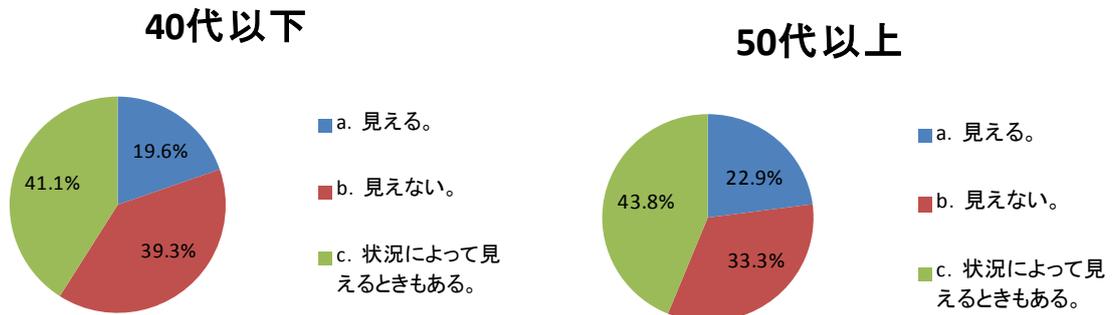


図 年齢(2区分)毎の回答結果内訳【ガソリンスタンド】(有効回答数:104サンプル)

(5) 検査標章の有効期間を確認する頻度について

検査標章の有効期間を確認する頻度は、a. よく確認する、が約 60%を占め、b. たまに確認する、という回答が約 30%と 9 割近い人が検査標章の確認を行っていることが分かった。また、事業者別に差異は特に見られない。

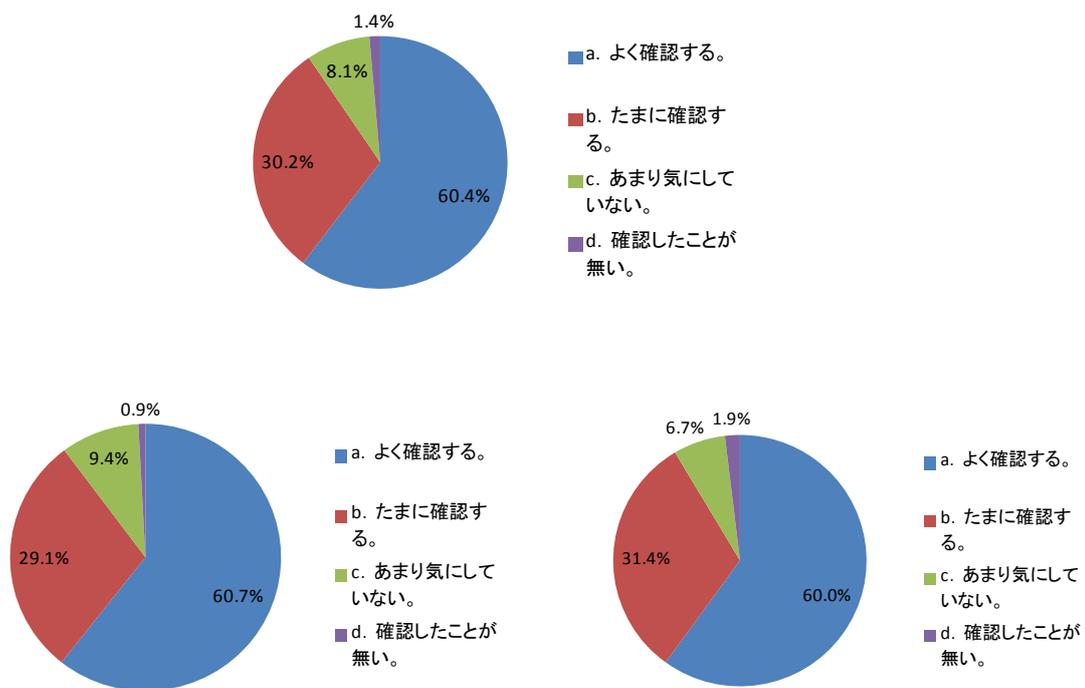


図 検査標章の有効期間を確認する頻度

(上段：合計値、下段左側：整備工場、下段右側：ガソリンスタンド)

【有効回答数：合計値 (222 サンプル)、整備工場 (117 サンプル)、ガソリンスタンド (105 サンプル)】

(6) 検査標章の有効期間を確認するために必要な視認距離

1) 集計結果

検査標章の有効期間を確認するために必要な視認距離は、1～3m程度と答えた人が半数を超え、次に多い1m弱と答えた人が約30%程度いるため、3mを確保すれば概ね良いという結果が得られている。これを事業区分別に見ると、整備工場従事者で3～5m程度の視認距離が確保されるべきと回答した割合が若干高い（問3でも比較的距離のある位置からの視認が多いという結果が得られている）が、約8割の人が3mを確保すれば良いと回答しているため、事業者区分による差異は特になし、一般論として考えられる。

(距離のイメージ)

- a. 1m程度：窓拭き等の車の直近から見える距離
- b. 1～3m程度：車両のすぐそばを通り抜ける際に見える距離
- c. 3～5m程度：車道に停車している車両を歩道から見る際に見える距離
- d. 5m程度以上：複数車線の道路の中央寄りを走行する車両を歩道から見る際に見える距離

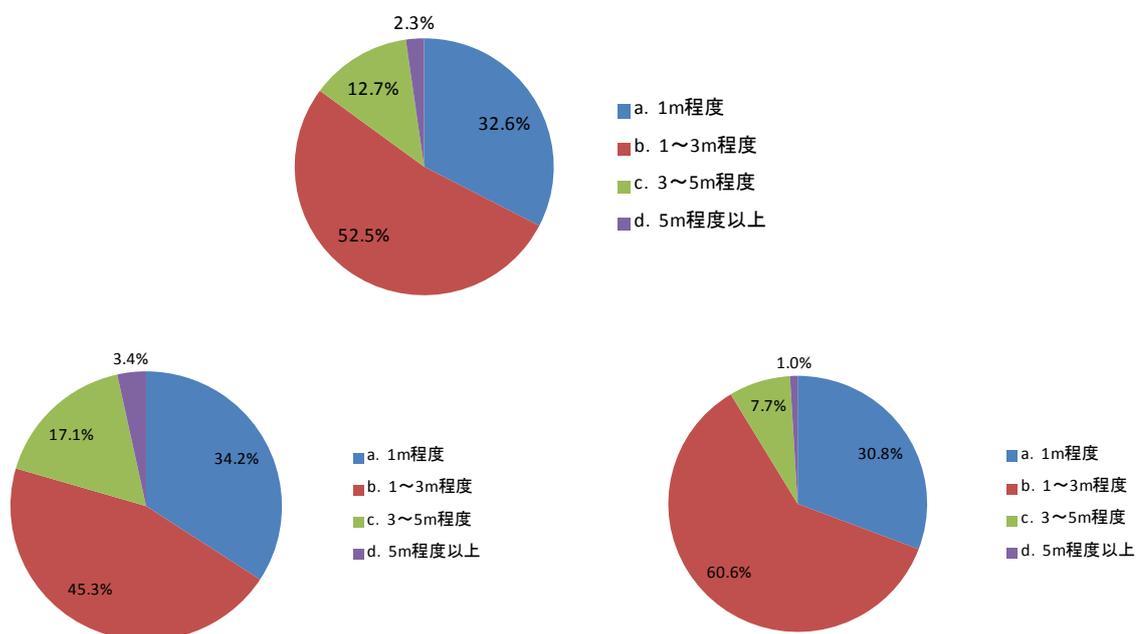


図 検査標章を確認するのに必要な視認距離

(上段：合計値、下段左側：整備工場、下段右側：ガソリンスタンド)

【有効回答数：合計値 (221 サンプル)、整備工場 (117 サンプル)、ガソリンスタンド (104 サンプル)】

2) 各視認距離を選んだ理由

a や b を選んだ人の意見では、現実的に必要な視認距離として選んでいる傾向にあり、c を選んでいる人の意見は、検査標章の本来の役割や目的のために必要な視認距離として選んでいる傾向にあると言える。

【a (1m 程度) と回答した人の主な意見】

- ・遠距離から見る必要性がないため。
- ・現実的に、a の位置くらいから確認することが多いから。
- ・ドライバーの立場からすると、大きすぎるのもだめ。
- ・有効期間を間違いなく確認したいため。

【b (1m~3m 程度) と回答した人の主な意見】

- ・車両に近づくといたずら目的と思われる為、ある程度距離が必要かと思う。
- ・あまり遠くで目視することはないので、近づいて見えるくらいで良いと思う。
- ・安全な位置での確認が必要なため。
- ・確認作業は比較的近距離となるため。
- ・遠くから確認できる大きさでは運転手の視界の邪魔になるから。

【c (3m~5m 程度) と回答した人の主な意見】

- ・検査標章の目的から考えても最低これくらいは必要。
- ・最低でも通りすがりでも検査標章の確認ができることが必要。もしくは、走行している車輛の検査標章の確認ができれば良い。

【d (5m 以上) と回答した人の主な意見】

- ・すれ違い時にも見えるようにすべきである。
- ・車検切れの状態で行かないためや、もし万が一走行していればすぐに気付けるため。

3) (4) 検査標章が入庫、入店時に見えるかどうかの回答と(6) 検査標章の有効期間を確認するために必要な視認距離の回答の相関について

下図より、現状において入庫、入店時に見えていない人ほど、遠い距離からでも検査標章を視認できるべきとする回答の割合が高くなっていることが読み取れる。現在入庫、入店時に見えないと回答している人であっても、必要な視認距離は3～5 m程度以下と回答している人が9割を超えている。

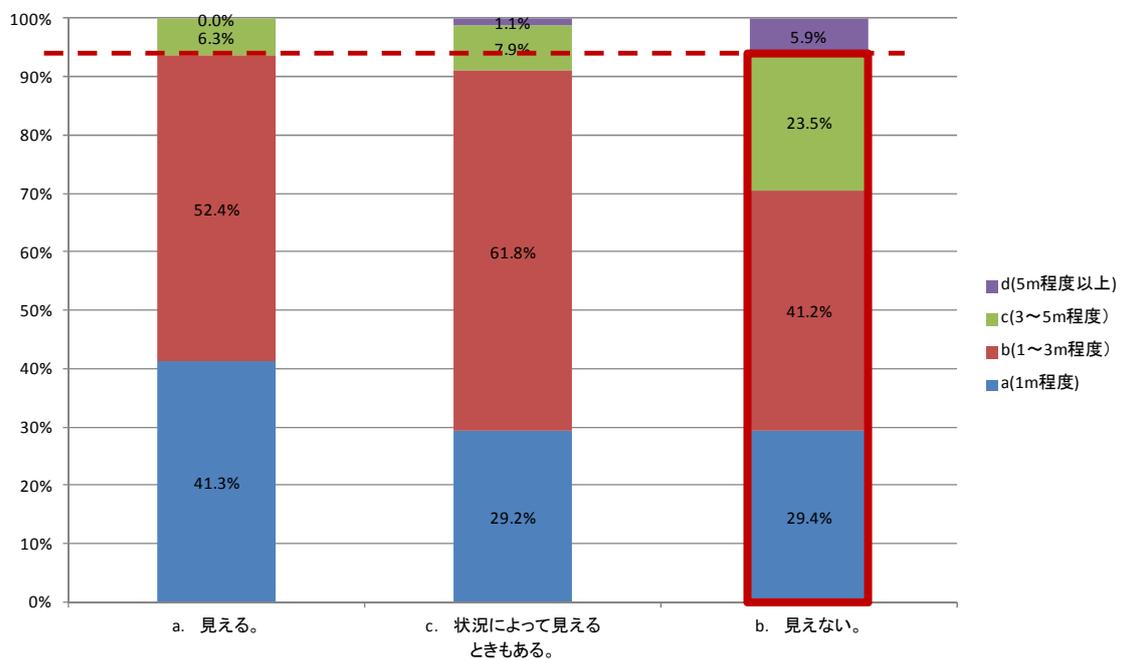


図 入庫、入店時の視認可能性と必要だと考える視認距離の相関について

(7) 検査標章を貼付する位置について

1) 集計結果

検査標章の貼付位置としては、現状のままである a. 正面上が約 70%を占めている。その他でも、上側に貼付する方が良いという意見が多く、下側に貼付するという意見はあまり支持されていない。

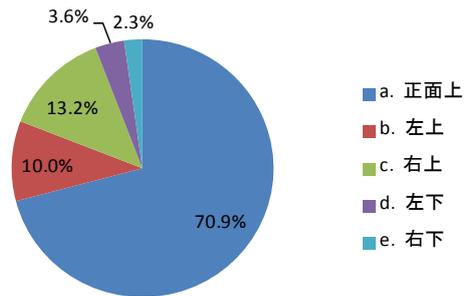


図 検査標章の貼付位置 回答内訳【有効回答数：220 サンプル】

2) 各貼付位置を選んだ主な理由

a. 正面上を選んだ人の意見の約8割を、一番見やすい場所であるためや見慣れているため、左右から同じ距離で確認できるためという意見が占めている。その他、
b. 左上を選んだ人の意見は運転手側からもよく見える、接客時に見やすいという意見や
c. 右上を選んだ人の意見では、12ヵ月点検の表示の近くが良い、車外、特に歩道側からよく見えるべき、という意見が得られた。下側がいいと言う人の意見では、上側はくもりガラスやサンシェードなどで見にくいという意見から下側を選んでいる人が多い。

【a（正面上）と回答した人の主な意見】（156票）

- ・正面が一番見えると思います。
- ・見慣れているため。
- ・前方の左右から同じ距離から確認できるため。
- ・ガラスの角度や形状によって左右だと見えにくいと思う。
- ・正面以外については運転手の視野に支障がでる恐れがある。

【b（左上）と回答した人の主な意見】（22票）

- ・aだとルームミラーがあるので分かりにくい。
- ・運転者が内側からも確認できるから。
- ・ドライバー側の上部、接客時に自然と見えるところ。

【c（右上）と回答した人の主な意見】（29票）

- ・12ヵ月点検の表示の近くが良いと思う。
- ・車外から、特に歩道側から見やすいようにすべき。
- ・衝突被害軽減装置等への影響を考えると比較的自由度があるから。
- ・最近の車は、センターに黒い網目があることが多いので、c当たりの方が見やすいと思う。

【d（左下）と回答した人の主な意見】（8票）

- ・運転席の付近で接客した後に目に入りやすい位置であるから。
- ・上方面はガラスの着色等で見づらいため。

【e（右下）と回答した人の主な意見】（5票）

- ・運転席と反対なので、運転者をじろじろ見ないで済むため。
- ・フロントガラス上部のグラデーションを避け、運転者の視界を妨げないから。

(8) デザイン案（月と年の文字サイズ）について

デザイン案（月と年の文字サイズ）については、a. 月の表示が大きい方が良いという意見の方がb. 年の表示が大きい方が良いという意見よりも多数である。

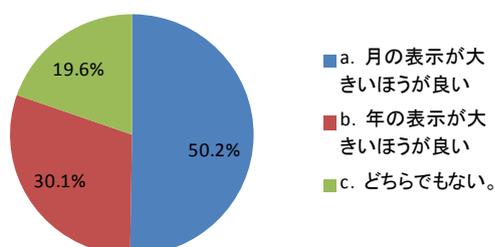


図 デザイン案（月と年の文字サイズ） 回答内訳【有効回答数：219 サンプル】

(9) デザイン案に関する自由意見について

デザイン案に関する自由意見は、概ね以下の4つに集約される。

① 台紙の色の組み合わせやフォントにより見やすくする（20件）

- ・蛍光色に黒字にしてはどうか。
- ・数字を蛍光色等にすることで見やすくしてもらいたい。
- ・数字を大きくして欲しい。
- ・数字のフォントをもう少し太い字体に変更した方が良いと思います。

② 年をレイアウトの違いにより識別する（2件）

- ・文字を大きくするために、標章の四隅を使って年を表現する等のデザインが考えられるのではないか。

③ 年を色により識別する（49件）

- ・以前のように年ごとに色を変えた方が分かりやすい。
- ・年の識別は、数字ではなく、シールの色を変えて認識する方が分かりやすい。
- ・年によって背景にボーダーやストライプ等で奇数年・偶数年等で区別できると良いと思います。

④ （その他）検査標章を大きくする（28件）

- ・現行のものは小さく、見にくいので以前の大きさに出来ないか。
- ・軽自動車の標章サイズが良いと思います。